

整備士の配置状況・年齢構成 基礎アンケート結果

整備士の配置状況・年齢構成 基礎アンケート

アンケート概要

○アンケート目的

消防防災航空隊の整備士確保に係る課題の洗い出しに際し、基礎的なアンケートを実施し現状を把握する。

○アンケート実施期間

2020年10月実施

○アンケート対象者

全国の消防防災ヘリコプターを運航する運航団体（自主運航団体（18団体）、委託運航団体（34団体）、混合運航団体（2団体）の計54団体）

表 アンケート対象者数

運用方法	人数（注）	団体数
自主運航	116	18
委託運航	106	34
混合運航	11	2
計	233	54

図 整備士の所属団体割合（人）

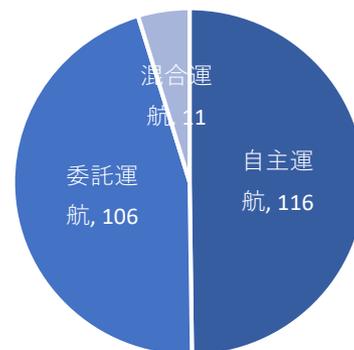
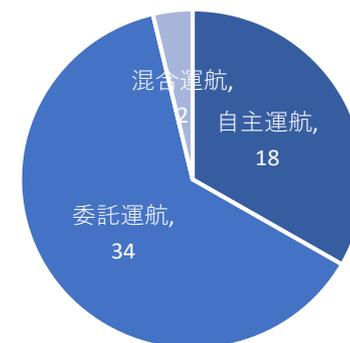


図 アンケート対象団体数割合（団体数）



○アンケート質問項目

- ・ 現在所属している各整備士について、採用時の条件の有無、その内容
- ・ 現在所属している各整備士の採用年度、現在の年齢、性別、航空消防隊従事年数、保有する技能証明の資格（回転翼航空機）、型式、経歴 ※交代要員含む

注) 委託運航団体の整備士には交代要員は含まない

整備士の配置状況・年齢構成 基礎アンケート結果

2020年10月時点の整備士の年齢・従事年数構成

全運航団体での整備士の年齢構成を見ると、40歳代以上が7割を超える。特に委託運航団体は自主運航団体と比較して40歳代以上の整備士が多くなっている。今後10年間で現在の50歳代以降の整備士の定年退職による整備士不足が問題になると考えられ、20歳代後半～30歳代の整備士を継続的に確保できるような体制が必要になる。また、消防防災航空隊従事年数の構成をみるとバランスはよいと考えられ、技術の継承については喫緊の課題はないと考えられる。

図 2020年10月時点の整備士の年齢構成

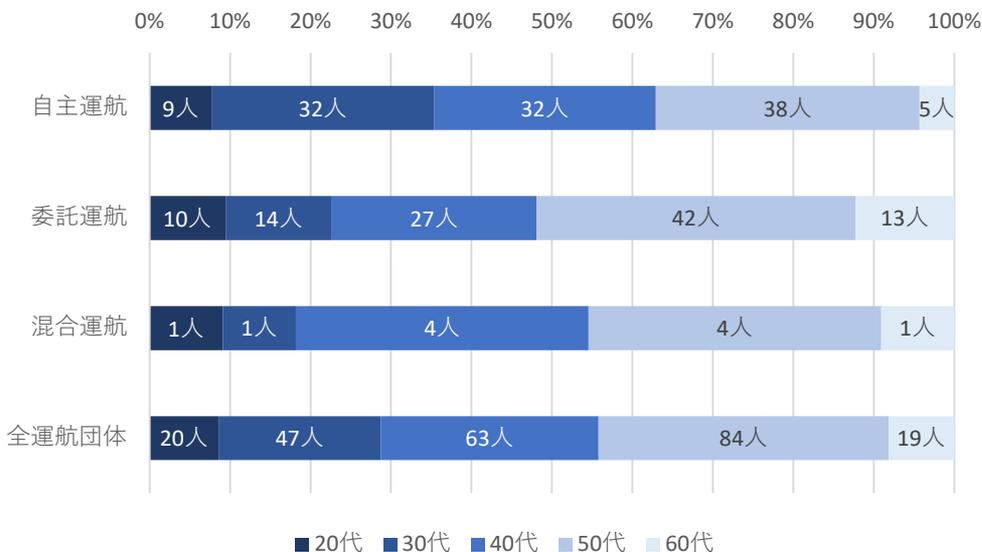
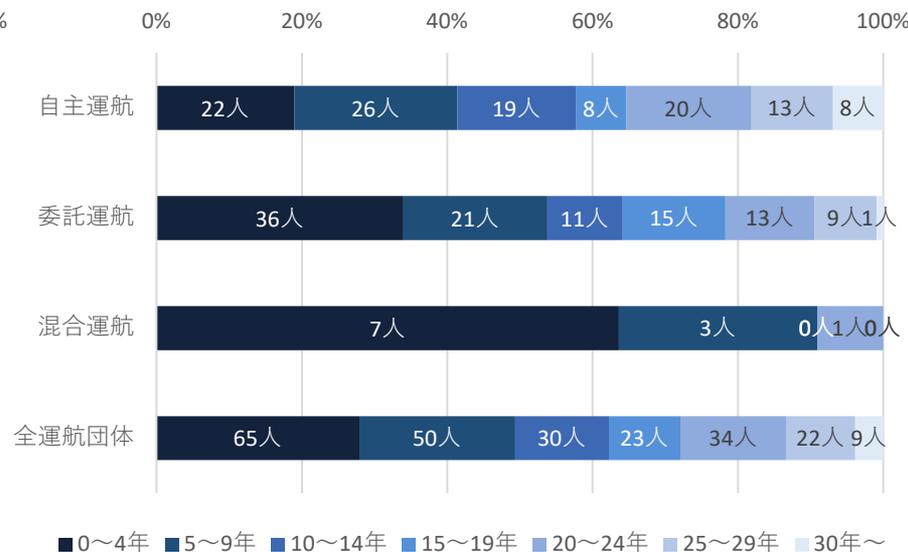


図 2020年10月時点の消防防災航空隊従事年数構成



注) 委託運航団体の整備士には交代要員は含まない

整備士の配置状況・年齢構成 基礎アンケート結果

整備士の採用条件

自主運航団体では整備士の年齢制限として40歳までとする団体が3割近くを占める一方で、委託運航団体では年齢制限はほぼなく、採用条件として運用機体の限定型式保有が多い。
また、採用条件として約4割が二等航空整備士以上を条件にしている一方で、一等航空整備士（約2割）や実務経験を求める採用（約2割）も多くあり、消防防災ヘリコプター整備士には高度な技能が求められている。

図 2020年10月現在所属している整備士の採用時の年齢条件

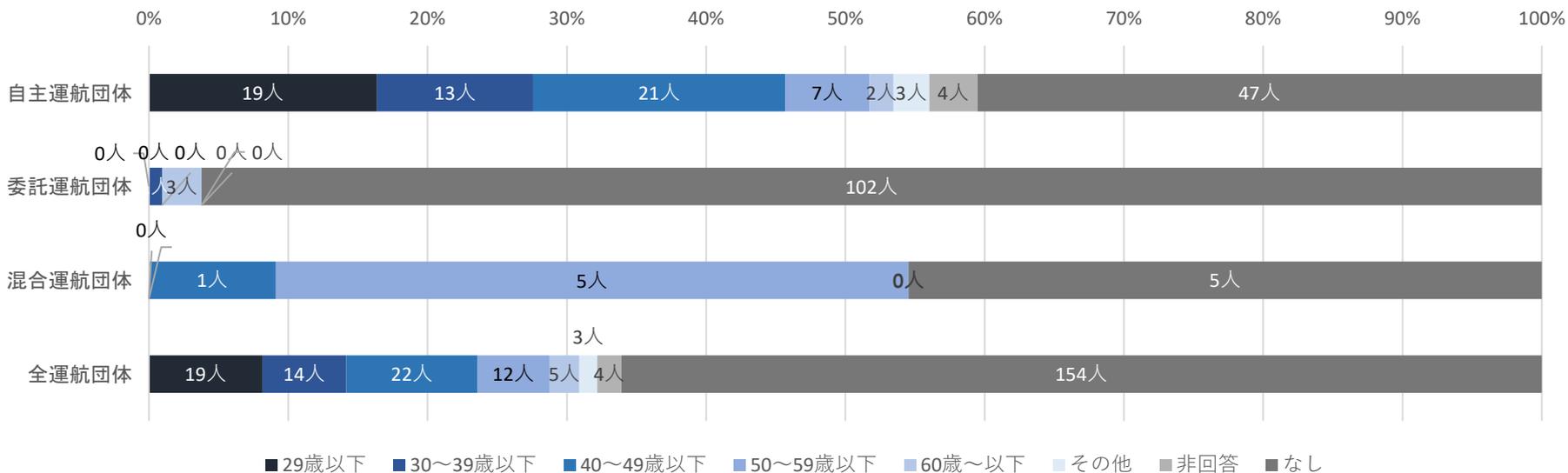


表 2020年10月現在所属している整備士の採用時の採用条件（複数回答可）

	一等航空整備士 (見込み含む)	二等航空整備士 以上 (見込み含む)	実務経験	型式保有	その他	内部養成等	なし	非回答
自主運航	25	46	12	14	3	21	40	4
委託運航	25	39	27	57	11	0	16	9
混合運航	3	4	3	2	0	0	4	0
全運航団体	53	89	42	73	14	21	60	13